電設新聞

発行所
(一社)福島県電設業協会
発行人 坂 本 幹 夫
〒960−8114
福島市松浪町9−6
（福島県電設会館）
TEL（024）533−6226
FAX（024）533−6235
E-mail:info@fukudensetsukyo.or.jp
編集印刷 福島建設工業新聞社
福島市西中央2−59

謹賀新年
本年も相変わらぬご指導ご支援をお願いいたします
一般社団法人 福島県電設業協会

将来担う人材を確保

社業全うし地域発展に貢献

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、何かと厳しい時代・環境の下、つかの間ではありますが、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、経済動向は第二次安倍政権が発足して以来、デフレからの脱却、行き過ぎた円高の是正を図り、経済の競争力と成長力の強化を目指す方針の下、金融政策、財政政策および成長戦略の「三本の矢」ということで、具体的な施策を次々に進めています。そういった取り組みにより、為替相場は円安に大きく振れ、株価も高値を更新しています。

景気回復の兆しが見え、大都市圏を中心に雰囲気が明るくなってきている中、一昨年九月のオリンピック東京大会開催決定を発端とした、東京湾岸エリアの施設建設やリニア新幹線など多くのインフラ整備が具体化されてきました。

これにより経済の先行きへの期待が大きく膨らみ、また、東日本大震災の復興が併せて加速することが期待され、次の世代を担う若者に大きな夢と希望を与える出来事が多い昨年だったと思います。

一般社団法人 福島県電設業協会
会長 坂本　幹夫

しかしながら現状における想定では、オリンピック関連工事と復興工事の本格化との時期が重なってしまい、建設業界では深刻な人手不足が懸念されています。

長年の建設投資の減少により、建設業界では就業人口が平成四年のピーク時から百万人以上減少しています。また、世代別で見ると、五十五歳以上が三十四%、二十九歳以下がわずか十一%と高齢化が急速に進行しています。

低炭素社会実現を推進

インターンシップ継続実施

わが協会としても人手不足や高齢化は切実な問題であり、それを乗り越え今後とも健全に発展していくためには、将来を担う優秀な人材の継続的な確保が必要不可欠であり、今年度もインターンシップの事業に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、中長期的な課題であります低炭素社会の実現に向けて、わが業界も積極的な貢献が求められております。

本県においては、広野・楢葉沖に、平成二十五年には風車「ふくしま未来」、発電設備「ふくしま絆」を設置して二メガワットで運転を開始し、第二期として昨年から本年度までに七メガワット級の浮体式風車二基の設置・運転が予定されています。

そのほかにも県内各地で太陽光プロジェクト、福島県国際医療科学センター、会津大学復興支援センターなどの建設が進み、本年度は郡山に「医療機器開発・安全センター」の発注が予定されており、復興にとどまらない先導的な取り組みとしての研究開発・産業創出の拠点としての整備が行われ、新しい「ふくしま」を作り上げていく推進力ともなっております。

われわれは、国民生活をさまざまな面で支えるライフラインを担う業界として、社業を全力で全うすることで地域の発展に貢献する団体としての役割を果たすとともに、その役割でも近年重要となってきた豪雨・地震のような自然災害に対する安全対策やサポート体制の充実をも図っていきたいと考えております。

最後になりますが、会員皆様には将来の展望に明るい希望を持って日々精進していただき、ますますのご健闘とご健康をお祈り申し上げまして新年のあいさつといたします。

明るい希望抱き日々精進を

山積する課題に進取の気概で

復興の新たなステージへ

福島県知事　内堀　雅雄

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

県政を担うこととなって一月半が経過いたしました。この間、「現場主義」を基本姿勢に据え、積極的に現場に足を運んでまいりました。今後とも、市町村や地域の声をしっかりと受け止め、県政に反映してまいります。

震災から間もなく四年を迎えます。今なお十二万人もの県民の皆さんが避難生活を続け、原発事故の完全収束に向けた課題も多く、厳しい状況が続いております。

その一方、インフラの復旧・整備が進み、福島県の未来を支える研究・開発拠点の開所や着工、企業の復興が着実に実感できるよう、スピード感を持って取り組んでまいります。

中でも、避難地域の再生は最優先の課題であります。環境回復や生活再建・安定への取り組みは経済活動や観光地のにぎわいの回復など、各地で復興の光が少しずつ見え始めてきました。

今年は、復興の序章から新たなステージへと進めていく年であります。

復興が着実に実感できるよう、スピード感を持って取り組んでまいります。

中でも、避難地域の再生は最優先の課題であります。環境回復や生活再建・安定への取り組みは商工業などの再生をしっかり進めるとともに、廃炉に集結する世界レベルの先端技術を種に革新的な新産業を生み出す「イノベーション・コースト構想」の具体化にも取り組んでまいります。

また、国、市町村と一体となって避難地域の将来像の検討を進め、復興施策全体の基盤となる「復興計画」の見直しにも着手いたします。

さらに、福島の将来を担う子どものための政策にも力を入れてまいります。子どもの持つ潜在力を大きく開花させられるよう、教育環境を充実させるとともに、地域全体で子どもを育む社会づくりを進め、日本一安心して子育てのできる県づくりを目指してまいります。

このほかにも、風評・風化への対策、避難者支援、社会生活基盤の整備、地方創生への対応など課題は山積しておりますが、こうしたさまざまな課題に進取の気概を持って果敢に取り組んでまいりたいと考えております。

「住んで良かった・来て良かったと思える豊かな〝ふくしま〟を築くため、「ふくしまから〝チャレンジ〟はじめよう。」の下、全力で県政を運営してまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

職員一丸で復興加速

福島県土木部長　松本　英夫

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から四年目となる新年を迎えました。

建設産業界をはじめ、県民の皆様とともに復旧・復興事業に取り組んできたことにより、昨年の十一月以降、避難されている方々の新しい生活拠点となる復興公営住宅が郡山市や会津若松市で完成し、入居の日を迎えることができました。

また、昨年の十二月には、被災地の未来を拓く「希望の道」となる常磐自動車道の浪江IC以北が開通し、さらに今年の三月の全線開通に向け準備が進められるなど、これまでの取組の一つ一つが実を結び、復興の光が少しずつ見え始めてきました。

今年は、復興の序章から新たなステージへと進めていく年であります。

被災地域はもとより、福島県全体でその地域が持っている力を最大限に発揮できるよう、全県的に社会資本の整備を展開してまいります。

具体的には、復興公営住宅については、全体計画四千八百九十戸の建設に向けて、郡山市や南相馬市をはじめ多くの団地で工事に着手し、一日も早く安定した生活を営むことができるよう、整備を加速してまいります

津波被災地の復興まちづくりについては、ソフト・ハードが一体となって防災機能が強化されたまちづくりを進めており、平成二十九年度までの防災緑地の完成に向けて着実に工事を進めてまいります。

また、避難者の早期帰還の実現に向けた「ふくしま復興再生道路」の整備をはじめ、常磐自動車道、相馬福島道路や会津縦貫道などの広域的な道路ネットワーク整備、県内の各地域の活力を高める道路整備を進めてまいります。

さらに、大規模自然災害に備えた防災・減災の体制や施設の整備、県民の安全な暮らしを支える治水・土砂災害対策、良好な市街地を形成する都市基盤の整備などを計画的に進めるとともに、予防保全の考え方に基づいた戦略的な維持管理を実施してまいります。また、地域特性を生かした環境に優しい再生可能エネルギーの導入にも取り組んでまいります。

県土の再生に向けて、私たちに求められているのは、さらなるスピードアップです。土木部では、「使命」、「挑戦」、「責任」、「誇り」を復興の理念として被災者の方々に寄り添いながら職員一丸となって取り組んでまいります。そして、本県の復興を成し遂げるためには、地元建設産業界の皆様の力の結集が不可欠です。福島県の再生・復興を成し遂げ、安全・安心で活力に満ちた「新生ふくしま」の創造に、より一層の御協力をお願いいたします。

2015年　年頭所感

人と環境を明日につなぐ、
ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック
NINOTEC
代表取締役社長　樽川　啓
本　社／〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL(024)935-1700　FAX(024)935-1706
拠点／仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器・空調機
オール電化・太陽光発電
eco Changes
三菱電機住環境システムズ株式会社
福島支店
〒963-0547　郡山市喜久田町卸1-76-1
TEL(024)959-6060　FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機　ガスタービン
コージェネレーションシステム
ヤンマーエネルギーシステム株式会社
いわき営業所
〒971-8124
福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四―一
TEL（〇二四六）五八―五八一一
FAX（〇二四六）五八―五六八八

地域産業の振興と明るく豊かな
社会づくりを目指しています。
OKADA
電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター
岡田電気産業株式会社
【本 社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL(0246)25-6111　FAX25-6101
白　河／TEL(0248)27-3385㈹
須賀川／TEL(0248)72-7136㈹
郡山西／TEL(024)952-5455㈹
郡山南／TEL(024)923-3298㈹
郡山北／TEL(024)939-3081㈹
会　津／TEL(0242)37-2660㈹
原　町／TEL(0244)22-5105㈹
相　馬／TEL(0244)35-1234㈹
福島東／TEL(024)546-3700㈹
福　島／TEL(024)553-1181㈹
いわき南／TEL(0246)28-6111㈹
勿　来／TEL(0246)62-3122㈹
山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
電材営業所　45ヶ所
住設建材営業所9ヶ所

インターンシップ支援事業

就業学習を終えての感想

嵐電気工事㈱、岩電機工事㈱、㈱富士工業商会、㈱佐藤電設、㈱和泉電機で実習

電気工事への就職楽しみ

県立勿来工業高校　鈴木　健人

インターンシップの前日は、楽しみな気持ちと嵐電気工事株式会社のみなさんに、迷惑をかけてしまうかもしれないという不安な気持ちもありました。

インターンシップ一日目は、電気工事の仕事での注意点、安全の大切さについてのビデオをみたり、貴社の仕事の内容などについて学びました。

僕は、電気工事の仕事についての説明を受けて、改めて安全の大切さを知ることができました。

二日目は、実際に現場に行きました。仕事の前に行う作業手順KYKをやりました。安全に仕事をするために、どんな小さな危険も見逃さず意見を出し合っていて、とても大変だし、すごいなと思いました。

三日目は、実際に仕事をしている所を見学させていただきました。建物に電気配線をする難しさを知る事ができました。またパイプベンダで金属管を曲げた際には、今まで自分たちで金属管を曲げたことがなかったので、パイプベンダで金属管を曲げるのがとても難しくて驚きました。

三日間のインターンシップをおえて、今まで僕たちも知らなかった電気工事の仕事を知ることができて、とても充実した三日間でした。私は、あと約一年半後に就職して電気工事の仕事をするのが、とても楽しみになりました。今回のインターンシップで学んだことを、これからの生活にいかしていきたいと思います。三日間本当にありがとうございました。

知識・技術の大切さ学ぶ

県立勿来工業高校　大河原和也

御社（岩電機工事株式会社）へ体験学習させていただき、将来の進路を明確にすることができました。出社前日から緊張と不安とでいっぱいでした。

初日では、CADの作業についていけず、迷惑をかけてしましました。

二日目の作業では初日同様CADの作業でしたが、前日よりはスムーズに行う事が出来ました。完成することが出来なかったのが悔しかったです。また、午後からは現場に行き、器具の点検作業をさせていただき、一つ一つ丁寧に取り扱い、思った以上に時間がかかることに驚きました。

最終日には、昨日と違う現場へ行き、指導担当者様が隣に居て下さり、スイッチの取り付け作業を行いました。学校での実習とは違い時間がかかり、職場の実態を感じることができました。

三日間の就業体験を通して、専門知識や技術のすごさや大切さを学ぶことが出来ました。あらためて自分の未熟さを感じ、残りの高校生活の中で出来る事を考えて充実できるようがんばりたいです。

宗像さん、佐藤さん、田口さん、インターンシップの三日間大変お世話になりました。ありがとうございました。貴重な体験をさせていただき、岩電機工事株式会社様ありがとうございました。お世話になりました。

未来を担う高校生が電設業体験

社会人の心構え知る

県立会津工業高校　岩田嘉偉人

私は、株式会社富士工業商会に二日間お世話になりました。二日間のインターンシップの期間では、社会人に必要なことを話し、また実際の現場で作業をさせて頂くことができました。社会人に必要なことについて話した結果、自分が生きていくために働くこと、会社に迷惑をかけないように働くことなど、社会で生きていく中の一人として、しっかりとした自覚を持つことの大切さを学ぶことができました。

現場に出てみると、富士工業商会の社員の方だけではなく、建築会社の方や、整備会社の方たちがいて、建物は様々な業者の方との協力で建てられているということを知りました。作業では、担当の方に丁寧に説明して頂きスムーズに作業を進めることができました。現場では電気の知識のほかに、仕事は楽しくやらないといけないということもおしえて頂きました。他の業者の方とも楽しく協力して仕事をしないと、建物が完成しないとおっしゃっていて、他人とのコミュニケーションや、協調性の大切さも教えて頂きました。

今回のインターンシップでは、あいさつや自覚を持つこと、他人との協力など、人間としての基本的なことを学び、改めて基本を忘れてはならないと感じました。今回学んだことを今後の生活に活かしていきます。本当にありがとうございました。

安全の重要性を実感

県立喜多方桐桜高校　平野　愛斗

今回佐藤電設さんのインターンシップに行かせて頂き、滝トンネルの配線工事・配電部さんのトランスの交換・湯川村役場庁舎の工事現場などの見学、作業のお手伝いを行いました。

普段見ること、立ち入ることの出来ない作業現場だったので、色々とご迷惑をかけたり、邪魔になったりしないか、前日から心配していましたが、とても優しく、今どのような作業をしていて、どこに配線しているかなど詳しく丁寧に教えてくださり、少し緊張しましたが、あまり固くなることなく、落ちついて話を聞くことができました。

また、実際に下回りのお手伝いなどを体験させて頂き、いつも目にして思っている様なものとは全く別のもので、常に命がけでとても力を使う体力勝負の作業だと、肌身を通して感じることができました。

どのような現場でも、その日のTBM－KYを立て、災害・事故防止に努めていたので、いつどんな所に危険が潜んでいるか分からない現場では、身の回りの安全が一番大切なんだと改めて思いました。

思い出に残る体験

会津テクノアカデミー　猪狩秀一郎

私は、今回のインターンシップで株式会社和泉電機さんの方にお邪魔させて頂きました。

一日目は、実際に現場へ行き建物内の内線の作業や、どのような構造になっているのかを見学しました。その後電柱の抜柱作業を見学しました。自分達が毎日使っている建物内の配線がどのようになっているかを実際に自分の目で拝見し、電柱の抜柱作業の見学など初めて見るものが多く、とても良い経験になりました。また社長さんが目標を待った方がよい、とおっしゃっていたので、今より明確に目標を持とうと思いました。

二日目は、外線の現場を見学しました。トランスの交換、電線の交換を見学しました。私は外線の仕事に就きたいと思っているので、実際に外線の作業を見学できてとても良かったです。

三日目は、空調設備の説明を見学を交えて聞きました。実際にそこで使われているキュービクルやトランスを見たり、コア抜きして電線を通す場所の説明を聞きました。

四日目は、トンネル内の照明工事の説明を聞きました。照明一つ一つ角度や明るさが必要でとても細かい作業だと思いました。

このインターンシップは私にとって、とても思い出に残るインターンシップになりました。本当にありがとうございました。

業界発展へ一致団結

6支部長 年頭所感

ISOの効果

福島支部長　**大槻　博太**

弊社では二〇〇〇年一月にISO9001の資格を取得しました。当時はこれからの建設業界はISO抜きには語れないとまで言われ、資格取得企業の将来はバラ色の時代があると信じ、多額の費用と時間を費やしました。

しかしながら、この資格は事前の情報とは喰い違いがあり（誤った情報を流した者が居たのか、勝手に思い込んだのか？）、取得後のインセンティブはあまり無く評価の度合いも低く残念な結果となっています。しかしその反面、ISO取得を目標に社内の流れを新たに検証した事によって、社内業務の無理、無駄が明確になり、各自の責任範囲等を全員で確認し共有できるようになった事は、大きな収穫でありました。

今年で取得十五年目、社内でのISOの取り扱いはスムーズに受け入れられ、空気のような存在に成りつつあります。今年で弊社も創立六十九年目、社員の若返りも図りながら、新世代に合ったISOを追及し、新たな体制作りにP、D、C、Aを上手く使いこなし、社内に存在する問題をいち早く発見し是正していくことが、企業の力強さとなり新たな社風を作り出してくれるものと考えております。

今年も新たなISOテーマを掲げ、全社一丸となって頑張ってまいります。今年も宜しくお願い致します。

若者の羨望の的に

白河支部長　**石川　亘**

二十六年度、若手経営者が集い、意見交換会が実施され活発な討議が行われました。以前にも経営部会という勉強会を企画した時期がありましたが、有名無実、はかなく消えていきました。私たちの協会が明確な事業目的を持って発展するにあたり、心強い旺盛な事業意欲をもった若手経営者の発言を聞いて、次の世代を担う経営者たちであると確信いたしました。協会創成期の絶対的権力者が存在した時から、大きく変貌を遂げた現在の協会にとって更に新鮮な息吹を感じました。

トップリーダーの交代は、革新の機会とともに、古い組織や方法を改めていくことができる後継者の仕事であります。会社の経営方針に大きな影響力を持つリーダーの責務は、全てに重いものだと考えます。従って頼もしいリーダーは、会社のゴールに対する得心と、それに貢献したいという強い願望に基づいて行動し、自己の能力にも自信を持った人が勝利すると言えます。

業界の現実は、弱肉強食の世界となっております。これからは道徳の向上に励むこと、仲間同士でお互いに励まし合っていく、切磋琢磨の心が大切になります。これらが遂行されることによって、自社と業界に明るい展望を見出せるものと信じて疑いません。企業は永続させなければなりません。そして若い人たちの羨望の的となるべく邁進していきましょう。「麒麟も老いては駑馬に劣る」「老いたる馬は道を忘れず」二つの故事を左右の掌に載せながら記しました。

優しく温かい行動

郡山支部長　**永井　博**

今年の干支は未（ひつじ）。本来の読みは「み」で十二進法では午前が終わり午後二時を中心とする二時間が「未刻」。十二支の後半に位置し、植物が鬱蒼（うっそう）と茂って暗く覆う状態を表しています。今年平成二十七年は成長が最高点から、緩やかに落ち着いてくる年のようです。その意味では一年間を通して考えると努力の年になると思われます。仕事はアベノミクス効果で長期的には良い方向に向かうと思われますが、昨年四月の消費税増税で段々に落ち着くように思われます。

また、羊はいつも群れて行動するように、単独で行う労働よりも組織でチームワークを必要とする仕事が向いている動物。内面はどんな困難にも屈しない精神力と忍耐力がありますが、実用面では誰もが毛糸で昔からお世話になっている動物です。寒い冬には毛糸で編んだセーターは欠かせません。暖かい温もりが心地良く、羊に感謝感激です。うまく表現できませんが、今年は羊のように優しい行動を積極的に、温かい行動にチャレンジしたいです。

昨年は除染、風評被害、東日本大震災後の復旧、国政選挙、羽生選手金メダル、錦織圭世界ランク五位の年でした。テレビアニメで「ベイビィ・ステップ」と言うのがあります。英語でヨチヨチ歩きの意味だそうです。初めて硬式テニスを始める男子選手がヨチヨチ歩きのような成長を日々続け、いつのまにか日本トップレベルの選手にまで成長する感動のスポコンアニメです。「意志あるところに道はできる」との台詞を絵に描いたようなアニメです。錦織選手を想像させる感動の内容です。是非骨休めに観てみてください。

現在、風評被害で復興がなかなか進まない福島県ですが、復興住宅等の復興事業も本格的に始まり福島県復興に東北の底力で、みんなの笑顔が戻るように頑張りましょう。

復興加速へ準備進める

いわき支部長　**末永　英隆**

震災からはやくも四年目を迎えることとなります。いわき市内における復興事業は、福島県やいわき市発注の災害公営住宅が順次完成を迎えており、市内の至る所で復興の兆しが見られる状況にあります。

また、双葉郡内の国道六号の規制が解除され、いわき市から北に向かう交通状況が改善されるなど、福島第一原発事故の復旧も多少の進捗が見られるようになりました。しかし、震災により生じた問題は未解決も多く、原発事故に起因する産業復興の遅れが明らかです。

福島県では、「再生可能エネルギー推進ビジョン」を発表し、再生可能エネルギーの飛躍的な推進を復興に向けた主要施策としています。電力会社との系統連系の問題や太陽光発電の買取価格の低下など、普及拡大が進まない要因も見られますが、われわれ電設業界も福島の一員として、これからの電気エネルギーの開発や効率化につながるような人材育成を進め、技術力、施工力を習得し、復興加速を担える準備を進めていきたいと考えます。

また、一年間、無事故無災害を継続していけるように、いわき支部内での安全活動は昨年以上に力を注いでまいります。

景勝地の復活願う

相双支部長　**八巻　正隆**

月日の流れは早い。津波で全てが流失し、原発の暴発から三年十カ月余りが経過しました。今日まで全国の建設関連業者による昼夜を問わない心温まる復旧・復興作業。おかげさまで緩やかではありますが、震災前の光景に戻りつつあります。

沖防波堤の復元、更には森林再生。「松林よ蘇れ」を唱えて多くの園児、児童による植樹祭。その数六十万本を目標に実施され、港の玄関として栄えた大洲の地。やがては若い世代と共にクロ松も成長し、それなりに役割が果たされることでしょう。

また震災関連、復興記録を伝承する施設の整備などが着々と進捗しています。一方、漁業については多大の漁獲高と実績を上げた、あの当時の水揚げを思えばまだまだ道程は厳しく、現在一カ月数回の試験操業をやむなく許され、その都度測定する放射能汚染による濃度も、時とともに薄れてはいますが、全ての品種が良とは言えない現況とのこと。

あの全盛のころを思い出せば長年、観光地として栄えた地は一体どこに。一瞬にして消滅させられた全てを今、地域をあげて、従来の姿に取り戻すために日夜努力を重ねているところです。

資源の宝庫として知られた観光地。一日も早く復活させ、若者が定着できるよう望んでいます。

語り継がれる仕事を

会津支部長　**佐藤　脩一**

昨年、わが日本国は、広島の土砂災害、長野県の御嶽山の噴火、また白馬村の震度六弱の地震と尊い人命財産が失われた一年間でした。

明るい話題としては、年末の十二月三日には「はやぶさ2号」が日本国民の希望をのせ、種子島宇宙基地より発射され、五十二億二キロの長い長い一人旅に出発いたしました。この探査機には、地元会津大学および福島県内の各企業のいろいろな分野の部品が使用されていることを知り、二〇二〇年には地球に帰還予定とのことです。この年は東京オリンピックの開催年であり、無事帰って来てほしいと思います。

それと同時に、わが福島県の復興も本年で四年目を迎え、二〇二〇年までどのような形で復興できるのか、われわれに与えられたミッションだと思います。後生に語り継がれる仕事を一致団結して、遂行したいと考えています。

皆様にとりましてより良い一年間になりますよう御祈念し挨拶といたします。

26年度県営繕課設備担当職員との意見交換会

協会からの質問に対する県の回答

1．設計変更について			
Q1	当初設計より、配線のルート変更等が生じた場合、設計されていたプルボックスが不要になった場合は減額の対象となるが、逆に増えた場合は対象にならないのはなぜか	A1	工事内容に変更が生じた場合は福島県工事請負契約約款第19条の規定により請負金額を変更することになっており、増額でも減額でも扱いは変わらない。疑義がある場合は監督員に協議をお願いしたい
Q2	工期延長に伴う請負金額（経費）の変更は行わないのか	A2	福島県工事請負契約約款第21条の規定による工期の変更に伴い、発注者の責めによる場合は必要な費用を発注者が負担することとなっている。主に工期延長によって増加する費用が変更の対象となる
Q3	特に竣工間近で変更があった場合、変更処理を早急に行ってほしい	A3	速やかに変更を行うこととなっており、迅速な処理を心がけるが、変更が必要な協議事項については必要の都度、早めに協議するなど協力願いたい
2．設計図書について			
Q1	設計段階での建築図、電気図、設備図の整合性（間仕切り、器具の収まり、器具取付スペース、単線結線図•系統図•平面図等）、なお且つ、法令（消防等）との整合性をとってほしい	A1	それぞれを横断的に確認し、法令に関しても消防等に対し事前協議を行っているが、齟齬（そご）が発生してしまっている実態がある。各図面で齟齬が生じないよう整合を図っていくが、請負者側においても、各工種間のすり合わせをお願いしたい
Q2	高天井等の機器・器具等の取付方法および取付にかかる費用が計上されていない	A2	建築関係工事積算基準（福島県土木部）により必要に応じて積み上げることとなっているが、現場の状況と設計に齟齬がある場合は監督員と協議してほしい
Q3	改修工事の設計段階で現地調査を行った際、事前に把握できるのもは図面に明記してほしい（既存品撤去再取付、既存再利用等）	A3	工事に必要な情報が確実に伝わる設計図の作成に努める
Q4	耐震スリット工法の建築物については、設計書に明記するとともに配線ルートを確保（吹かし壁等）してほしい	A4	各工事に必要な情報を明記するよう努める。また、ふかし壁等について建築的な対応が必要かどうかについても設計時に確認するように努める
Q5	産廃処理費の適正化（ナトリウムランプ処理等）	A5	実情に合わせた積算とすることとなっている。どのあたりが適正になっていないのか教示してほしい
3．現場管理について			
Q1	躯体工事における電気配管打込みおよびスラブ配管、スリーブ施工に関する規定が異なることがあるので統一してほしい（設計事務所等によって異なる場合あり）	A1	福島県建築設備工事共通仕様書のとおり
Q2	工事担当技術者台帳、施工体系図は施工体制台帳の添付書類なので、下請金額が3000万円未満の場合は提出しなくても良いのではないか	A2	福島県元請・下請関係適正化指導要綱第9の3の規定では必要ない
Q3	接地工事の設計をする際、通常の接地工事で規定値を得られない地域は、地質調査をできるだけ行って、万が一工事量が増大した場合は工事費を追加計上してほしい	A3	周辺施設の状況などを勘案し、設計段階における接地抵抗値の事前測定が必要か判断することとしている。施工が設計図から変更となる場合は、実情に合わせた積算とすることとなっている
Q4	監督員からの設計変更依頼に基づいた変更は、協議書ではなく監督員からの指示書を提出してほしい	A4	監督員からの設計変更については、監督員側から請負者に協議することになっている。設計変更は甲乙協議のため協議書の形となる
Q5	提出書類が土木仕様と営繕仕様があるが営繕仕様に統一できないか	A5	書類については共通仕様書に記載のとおりとなるので確認をしてほしい。現在はほとんどの書類が土木・営繕共通になっている。どの書類が必要なのか、様式についてどうあるべきかについては事前に監督員と協議してほしい
Q6	既設物（鋼管ポール等）の再使用時に強度計算を求められたが、メーカーでは既設物の強度計算は有料だ。変更の対象としてほしい	A6	メーカーに依頼しなくてはできない複雑な計算が必要で有料となる場合は、監督員に協議してほしい
Q7	改修工事の仮設建物から既設建物への切り替え工事で、放送・火報は全面停止しての工事のため制約が多い。当初設計に切替方法を盛り込むか、長期休みに工事ができるよう工期を選定してほしい	A7	施設運営を考慮した設計としているが、設計時と施工時で利用者側の見解が異なっている場合がある。設計者と請負者の想定施工時間の差異もあるので、監督員、施設管理者と協議してほしい
Q8	材料検査の全数検査を緩和してほしい（B材）	A8	福島県建築・設備共通仕様書の規定で、一度検査し合格した資材と同じ種別の機材は原則として抽出検査とすることとなっている

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部　福島市矢剣町1-22　☎(024)526-1311
福島事業所　福島市矢剣町1-22　☎(024)526-2111
原町事業所　南相馬市原町区上渋佐字原田432-1　☎(0244)22-3568
郡山事業所　郡山市富田町稲川原1　☎(024)932-6054
白河事業所　白河市十三原道上3-51　☎(0248)22-6066
いわき事業所　いわき市好間町上好間字洞42-1　☎(0246)36-1177
若松事業所　会津若松市町北町大字上荒久田字村北147　☎(0242)32-3350
田島事業所　南会津郡南会津町田島字南下原66-1　☎(0241)62-4847

電気技術綜合コンサルタント!!

自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部／仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシーザ仙台ビル　TEL(022)261-6015
福島県支部／いわき市平赤井比良3-20　(0246)21-5516
福島電気管理センター／福島市佐原字台26　(024)593-1266
郡山電気管理センター／郡山市安積町荒井字北大部5-20　(024)946-2461
会津電気管理センター／喜多方市塩川町会知字八幡町3050-1　(0241)27-7664
相双電気管理センター／南相馬市原町区仲町一丁目157　(0244)22-2817
白河電気管理センター／白河市本沼60-1　(0248)22-1568
いわき電気管理センター／いわき市平泉崎字南集25-3　(0246)34-5551

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL（022）783-8181

■福島営業所／福島市瀬上町字桜町3-12-3　☎(024)553-8551㈹
■福島西営業所／福島市大森字街道下57-1　☎(024)544-6228㈹
■郡山営業所／郡山市大槻町下町東52　☎(024)961-6667㈹
■郡山南営業所／郡山市大槻町下町東52　☎(024)961-6667㈹
■白河営業所／西白河郡西郷村大字米字中山前84-10　☎(0248)21-1971㈹
■原町営業所／南相馬市原町区北原字本屋敷153　☎(0244)23-6106㈹
■相馬営業所／相馬市椎木字北原104-1　☎(0244)35-6350㈹
■いわき営業所／いわき市鹿島町御代字大一田1-1　☎(0246)76-1055㈹
■平営業所／いわき市平塩字出口43-5　☎(0246)35-6481㈹

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社
東北支社

福島支店
福島営業所　TEL(024)553-4165
郡山営業所　TEL(024)934-3065
いわき営業所　TEL(0246)75-0700

技術と信頼を誇る
電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002　仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022) 288-0701㈹　FAX(022) 288-0705

県土木部建築総室事業展望

小名浜港湾 相馬港湾 事務所に着工

現場主義徹底で課題解決

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日ごろ本県の建築行政の推進につきまして、格段の御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災および原子力災害からまもなく四年を迎えようとしております。汚染水などの問題もあり事故は今も収束しておらず、約十二万人余の方々がいまだに県内外で避難生活を余儀なくされる厳しい状況が続いております。

県では、この困難な事態を乗り越えようと「福島県復興計画」に基づき、県内各地で復興・再生に取り組んでいるところです。

特に、住宅関係につきましては、「はじめよう、ともに創る、誇れるふくしまの住まいとコミュニティ」を基本目標に、被災者への支援として、応急仮設住宅の維持管理や民間賃貸住宅の借上げ等を継続して行うとともに、関係機関との連携・協力により住宅の自立再建のための相談対応等を実施してまいりました。

さらに、原子力災害による避難者の生活拠点を整備するため、復興公営住宅を全体で四千八百九十戸整備することとしており、このうち、県整備分では郡山市の二団地四十戸については昨年十一月より、会津若松市の一団地二十戸については同年十二月より入居開始することができました。今後も避難されている方々が一日でも早く安定した生活を取り戻せるよう設計・工事を鋭意進め早期の完成に努めてまいります。

また、地震や津波による県有建築物の災害復旧につきましては、被災した高等学校の改築等を実施してきたところであり、今後は小名浜、相馬港湾建設事務所等の復旧工事に着手するなど引き続き県有建築物の早期復旧に努めてまいります。

また、復興の拠点施設となる「福島県環境創造センター」「福島県医療機器開発・安全性評価センター（仮称）」「水産種苗研究・生産施設」等、大規模な施設の整備事業も着々と進んでおり、本県の復興・再生に向けた取組の成果が目に見え、形となって現れてまいりました。

このほか、県有建築物の耐震化や太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー導入などを進めるとともに、県有建築物の長寿命化に向けた計画を策定するなど、県有建築物を良好に維持するための修繕や改修を計画的に実施していくこととしております。

建築行政が取り組むべき課題はまだまだ山積しておりますが、復興を加速するため、現場主義を徹底し、スピード感を持って課題に取り組んでまいる所存ですので、皆様のなお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭所感

復旧・復興に邁進

福島県建設産業団体連合会
会長　小野利廣

新年明けましておめでとうございます。

大震災・原発事故発生から四度目の新年を迎えます。県内建設産業は、本県復興・再生のため三年九カ月余全力で取り組んできました。徐々にですが社会資本整備や復興住宅建設等に一定の成果が表れてきました。しかし、県民生活や県土の完全復興は、いまだに続く除染や風評被害と言った課題もあり遥か彼方との思いです。

このような中、十一月に任期満了に伴う知事選が行われ、前知事の後継者として圧倒的な支持を得て内堀新知事が誕生しました。新知事には、山積する諸課題を克服し活力ある安全安心な福島県づくりにご活躍を願うところです。

ところで、地元を支え守る建設産業は、現在建設資材等の不足・高騰、若年技能者の不足・賃金の高騰等への対応、入札契約制度や設計積算・建設生産システムの適正化、更に企業維持のための安定した公共事業確保など多くの課題を抱えております。

こうした建設産業の構造的課題解決のため、国は公共事業の基本となる品確法を中心に、関連する入契法、建設業法の一部改正を行い、行き過ぎた価格競争の防止と若年者等担い手確保を基本理念に、適正な予定価格や工期設定等々発注者の責務を明確化すると同時に、多様な入札制度の導入を義務づけしたところです。

加えてこれらを実現するための指針も近く公表される予定です。国・県はもちろん、各市町村も品確法等の理念を厳守され、建設産業の健全な発展に努められるよう望むものであります。

私ども建産連は、引き続き福島県の復旧・復興に邁進し「夢・希望・笑顔に満ちた〝新生ふくしま〟」の実現に向けた活動を推進して参りますので、本年もよろしくお願いいたします。

▽福島支部・高橋武（高橋電気工業㈱・昭和十八年生）
▽いわき支部・坂本幹夫（常盤電設産業㈱・昭和十八年生）
▽福島支部・吉田隆悦（吉田電気工業㈱・昭和三十年生）
▽福島支部・加藤裕司（広栄電設㈱・昭和四十二年生）
▽福島支部・佐藤卓立（㈱佐藤電気商会・昭和四十二年生）

協会のうごき

【12月】

3日・福島県総合設備協会「第2回理事会」（杉妻会館）

6日・新製品・新工法セミナー（会津アピオスペース）

11日・県営繕設備担当職員との意見交換会（ビッグパレットふくしま）

編集後記

町民や近隣地区の憩いの場所、大池公園があります。面積は外周で約二九〇〇㍍、その中に大池があり池園路周遊道は二〇〇〇㍍。一年を通じて散歩やジョギングができます。

毎年十一月下旬頃から数百羽の白鳥が飛来し、町民の方々が毎朝餌食をして生態を観察していました。東日本大震災発生前の三月初旬に突然、白鳥が飛び立ちました。その後、三月十一日に大地震が発生。人間界では事前に予測できたのだろうか、動物には特殊な能力があり、大地震を予感して飛び立って行ったのではないかと思う。今年の冬は数羽の白鳥が四年ぶりに飛来してきました。

大池の周りには、樹齢百五十年以上の赤松が茂っており、そして、大池の中には八つ橋を渡ると二階建ての六角堂、その展望台から周りを見渡す光景は大変素晴らしい。八つ橋周辺の水辺には白・赤・ピンクの睡蓮の花が咲き誇ります。

また、日本庭園の池には毎年七月中旬に緋紅色をした大輪の花、大賀蓮が毎日早朝に咲き、カメラマンの方々が夜が明けるのを待って、花の咲く瞬間を写しています。

大池公園は四季を通じて楽しめる場所であり皆様ぜひご来園下さい（広報委員・浅川誠吾）。

機能アップ
○ブレーカ探査
○ケーブル探査
○埋設線探査
○漏電点探査（死線）
○回路電圧表示
Superラインチェッカ TLC-C形
T-gami 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
TEL 022-295-5571　FAX022-295-5573

最新鋭 CIM CAD+CAM
配分電盤、制御盤メーカー
品質・環境 ISO 9001 マネジメントシステム ISO14001 取得
ワイム
株式会社 山形電機製作所
本社／〒990-2211 山形市十文字1318-5 TEL.023-686-4316代 FAX.023-685-1011
北海道千歳工場／〒066-0051 千歳市泉沢1007-72 TEL.0123-28-3377 FAX.0123-28-3379
支店／東京支店・東北支店・札幌支店
営業所／山形営業所・秋田営業所・岩手営業所・福島営業所

必ずチェック最低賃金！使用者も労働者も

常用・臨時・パート・アルバイトなどの名称にかかわらず、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます

業種		最低賃金額（時間額）	効力発生日
福島県最低賃金（下記の5産業を除く全産業）		689円	平成26年10月4日
産業別最低賃金	非鉄金属製造業最低賃金	802円	平成26年11月28日
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	753円	平成26年12月13日
	自動車小売業	785円	平成26年12月17日
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械機器・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	787円	平成26年12月27日
	輸送用機械器具製造業	789円	平成26年12月27日

詳細は福島労働局賃金室TEL024（536）4604または最寄りの労働基準監督署まで

URL http://www.towagp.co.jp/
東和電機工業株式会社
受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造
新エネルギーシステム関連事業
コ・ジェネレーションシステム関連事業
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造
郡山営業所　所長　白取隆
〒963-8851郡山市開成5-18-20 マイシティ開成1F
TEL024-933-3299 fax024-934-5178
Challenge&Creative TOWA

交通・鉄道信号／駅務機器
LED蛍光灯
地中埋設物探索レーダ
駐車場機器
日本信号株式会社 東北支店
〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル
TEL (022)261-8371　FAX (022)225-4627

FURUKAWA
配電盤 制御システムメーカー
古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長　小野寺　優
福島県郡山市若葉町11-23　☎（024）934-0859
FAX（024）934-0861
本社／仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場／仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所／仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌